

## 第3次東近江市総合計画（案）に対する意見の概要と市の考え方

### 【パブリックコメントの実施状況】

・意見募集期間

令和7年12月26日（金）から令和8年1月23日（金）まで

・意見の件数

提出方法	持参	郵送	ファクシミリ	Eメール	合計
件数	1	1	－	4	6

### 【意見の概要と市の考え方】

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	第2部 現状と課題 第3章 まちづくりの現状・課題	<p><b>まちの一体感の醸成について</b></p> <p>計画の中で「まちの一体感の醸成」と「地域のアイデンティティの形成」が記載されているが、一見すると矛盾する。地域の方は、それぞれが旧町の取組や自治会ごとの昔からの伝統行事などをいかに継承するかを考えており、それがアイデンティティの形成となると思うが、まちの一体感を具体的に何で作出そうとしているのか分からない。</p> <p>各地域を結ぶ道路体系の強化でまちの一体感を醸成するなどはっきり示してほしい。</p>	<p>本市では、1市6町のそれぞれの地域でまちの個性や奥深い歴史・文化が形成されてきており、それぞれの地域のアイデンティティを大切にしつつ、市全体のアイデンティティとなるよう、東近江市としての一体感の醸成を図ってきました。</p> <p>計画では、引き続き各地域の自然や歴史・文化・伝統に磨きをかけ、多様性のある地域であることを発信し、その認識を高めるとともに、将来世代に引き継いでいけるようスケールメリットをいかしながら取り組んでいくこととしています。</p>

<p>第3部 基本構想</p> <p>第3章 基本方針</p> <p>基本方針1</p> <p>基本方針2</p>	<p><b>過疎地域対策について</b></p> <p>基本方針1、2の実現のためには公共交通機関の維持は最重要だと考える。</p> <p>免許返納人口や高齢核家族も増え、家族を頼りにはできない時代になりつつある。過疎地域を多く持つ本市に地域交通は必須と考える。</p> <p>また、過疎地域の人口の減少抑制と地域保全のため、過疎地域に住む世帯への市内産お米の支給を提案する。</p> <p>過疎地域であっても人が住み続けることで、道路や里山、山林の保全は市が単独でやるのとでは負担が違う。</p> <p>お米の支給はギブですが、テイクとして、里山維持や伝統行事への参加、河川の保全活動があてられるかと思う。</p> <p>現時点でも各自治会が堤防の除草などを行っているが、これらも人口減少や目に見えるメリットが若い方に分らず、奉仕のない地域への移住となっていることも事実である。</p> <p>また、農地は平地だけではなく、山間部に占める割合も高い。そこにも手入れしなければ、災害につながることは最近の山林火災や土砂崩れで明らかである。</p> <p>市内産のお米で支給は、市内産の野菜でも可と考える。確かな引き取り先があれば、生産者の離農を防ぎ、お金も地域で循環し地産地消も実現できる。基本方針1に資すると考える。</p>	<p>御提案の過疎地域の地域交通については、過疎地域に限らず市域全体の重要な課題であると認識しており、第4部「第1期基本計画」・政策6・基本施策7で「交通環境が整っているまち」を目指すこととしています。</p> <p>過疎地域に限ったお米などの支給はできませんが、本市では、総合計画を推進する具体的な個別計画として策定している過疎地域持続的発展計画に基づき、過疎地域と他地域の事業調整を図りながら、市全体で均衡ある発展に取り組みます。</p>
---	---	---

<p>第4部 第1期基本計画 政策5（農林水産） 基本施策2 施策1</p>	<p><b>林業の循環について</b></p> <p>東近江市の山林について、遠目では青々しているが山の中は手入れができておらず、荒れている。このままでいけば山の災害は増えると予想される。</p> <p>林業の循環を何とか取り戻すため、小手先でない政策を考えてほしい。</p>	<p>第3部「基本構想」・第4章「まちづくりの目標」に示しているとおり、「本市の『自然』を生活の中にある当たり前ではなく、私たちが長きにわたりこの地で守り、育ててきたからこそ今がある」と考えています。その源である森林は大変重要なものであり、第4部「第1期基本計画」・政策5には20年後の姿として「森林が持つ価値が評価され、新たな活用を可能にする技術の向上とともに担い手が増えている」ことを目指すこととし、御指摘の点も含めて取り組むこととしています。</p>
<p>第4部 第1期基本計画 政策1（教育） 基本施策5 施策1</p>	<p><b>学校の統廃合について</b></p> <p>学校について、統廃合は防災担当課など部局を横断して考えてほしい。</p> <p>学校は地域の避難所にも指定されている。廃校した場所と使い続けている場所とでは維持管理が違う。また、統廃合した場合、通学に必ず公共交通機関やスクールバスの問題も発生する。</p>	<p>少子化が進む中で、次世代を担う子供達のための学校の適正規模や適正配置は重要な課題であると認識しています。</p> <p>学校の適正規模や適正配置については、通学などの状況も踏まえ、関係部局とも連携を図り総合的に検討する必要があると認識しており、御指摘の点も踏まえて考えていきます。</p>
<p>第4部 第1期基本計画 政策4（子育て）</p>	<p><b>子育て政策について</b></p> <p>子育て世帯の偏在が益々進まないよう、過疎地域にも若い世帯が住める後押しの政策が必要と考える。</p>	<p>本市では、総合計画を推進する具体的な個別計画として地域の持続的発展を目指して過疎地域持続的発展計画を策定し、全ての人が安心して暮らし続けることができる地域社会づくりが重要であると考え、定住対策、産業振興、基盤整備や子育て環境の確保などに取り組むこととしています。</p>

<p>第4部 第1期基本計画 政策1（教育） 基本施策7 施策1</p>	<p><b>中学校の部活動について</b></p> <p>現在の中学校の部活動について、機会の格差と地域からの生徒流出を加速させている。</p> <p>市が部活動は地域移行せずに学校で行うとしているのならば、生徒の部活動の機会提供を担保するべきと考える。</p>	<p>第4部「第1期基本計画」・政策1・基本施策7・施策1「児童・生徒の育成」に記載のとおり、中学生の自主的、実戦的な態度を育てるため、中学校の部活動については可能な限り希望に添えるよう努めます。</p>
<p>第4部 第1期基本計画 政策6（公共交通）</p>	<p><b>ちよこっとバスの維持について</b></p> <p>ちよこっとバス利用で親の送迎の負担軽減や子どもたちの安全な通学を考えてきた。バスの本数を増やすのに実績をつくってくれば、増やせるといわれた。現時点でやれることはそれなりにした。市議などが積極的に利用し、現状をしっかりと体験してほしい。</p> <p>バス利用のモニターを募集し、もっと積極的にバスの維持を考えてほしい。</p>	<p>運行本数の増加については、利用実態の把握が重要であることから、引き続き利用状況を調査し、運行費用やバス会社における人員面を含めて総合的に検討を進めます。</p>
<p>第4部 第1期基本計画 政策5（観光） 政策6（公共交通）</p>	<p><b>観光におけるちよこっとバスの活用について</b></p> <p>観光について、イベントなどその時期だけでもちよこっとバスの増便や市内仏閣巡回バスなど、公共交通機関と観光担当課が横断的に政策をしてほしい。今以上に訪れやすくなると思う。</p>	<p>本市では、まちのにぎわい創出に向け、観光分野と交通分野が連携し、横断的な取組を進めています。</p> <p>例えば紅葉期には湖東三山観光振興協議会でシャトルバス（彦根駅－湖東三山）を運行するなど、本市だけでなく周辺の市町も含めた広域的な視点で政策を推進しています。</p> <p>また、ちよこっとバスについては、利用者ニーズを踏まえつつ、将来的な観光利用の可能性も検討することとしています。</p>

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
2	第4部 第1期基本計画 政策1（子育て）	<p><b>保育料について</b></p> <p>当方、子育て世代で、様々な助成金等があり感謝しているが、保育園代が高額で生活が厳しいのが現状である。</p> <p>新婚で住宅も新しく建てたこともあり、家庭は金銭的にかなり苦しい。もう少し何とかしてほしい。</p> <p>調査、検討をお願いする。</p>	<p>保育料については、3歳未満児は、国が定める基準を踏まえた上で本市独自の軽減措置を実施しています。また、第2子以降の保育料についても、軽減を図り、3歳以上児の保育料については無償としています。</p> <p>今後も、社会情勢や子育て世代を取り巻く環境の変化を注視しながら、子育て世代への支援の充実に努めます。</p>
	第4部 第1期基本計画 政策6（道路河川） 基本施策1 施策1 基本施策2 施策1	<p><b>国道421号線の交通について</b></p> <p>国道沿いにいろいろなお店が並び過ぎ、賑わいはあるが常に渋滞が発生しているのではと感じる程多く渋滞している。</p> <p>また、抜け道はあるが、細く通る人が居ないのが現状であり、抜け道かと思えば行き止まりということもある。</p> <p>行き止まりを作るのは辞めてほしい。また、道の作り直しや新しい道の整備をして渋滞の緩和をしてほしい。</p>	<p>国道421号では、沿線の商業施設の集積や交通集中による慢性的な渋滞の解消を図るため、中心市街地を外周する環状道路や幹線道路へのアクセス道路の整備を進めています。</p> <p>総合計画においても引き続き主要幹線道路や地域内道路の整備を進めることとしており、交通の利便性を高め、円滑な交通が確保できるよう取り組みます。</p>

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
3	第4部 第1期基本計画 政策1（子育て） 基本施策3 施策1 基本施策4 施策1	<b>待機児童対策について</b> 待機児童について、ゼロに近くする施策は続けつつ、もう今くらいでいいと考える。何故なら、周りでもわざと待機児童枠を狙っている声を東近江市でも聞くため。	待機児童対策については、保護者の就労と子育ての両立を支援する重要な施策であることから、引き続き待機児童の解消に向けた取組を継続することとしています。
	第4部 第1期基本計画 政策6（公共交通） 基本施策7 施策1	<b>ちょこっとバスの利便性向上について</b> ちょこっとバスについて、もう少し高校生や大学生も乗りやすい時間帯やルートを増やしてほしい。特に愛東、湖東、永源寺から八日市市内の学校や駅までなど。 また、真夏の熱中症対策に小学校の登下校にも期間限定などで利用できれば更に良いと考える。 便数やルートが増えれば必然的にお年寄りも今よりも更に乗りやすくなると思う。	運行時間帯やルートの見直しについては、利用実態やニーズを踏まえながら、運行費用やバス会社における人員面を含めて総合的に検討する必要があると考えています。 登下校時の熱中症対策については、関係部署が連携し、方策を検討する必要があると考えており、取組を進める上での参考といたします。
	第4部 第1期基本計画 政策1（教育） 基本施策5 施策1	<b>小・中学校の在り方について</b> 小学校がどんどん人数が少なくなっているところは市立の中学校の空き教室と合併するのもありかと考える。（県内では市立虎姫中学校を参考に）	少子化が進む中で、次世代を担う子供達のための学校の適正規模や適正配置は重要な課題であると認識しています。 学校の適正規模や適正配置については、通学などの状況も踏まえ、関係部局とも連携を図り総合的に検討する必要があると認識しており、御提案の点も踏まえて考えていきます。

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
4	第4部 第1期基本計画 政策4（環境） 基本施策1 施策3	<b>循環型社会の構築について</b> 成果指標で「ごみのリサイクル率」とあるが定義又は計算式がない。リサイクル率の算定の注釈が必要ではないか。 また、熱回収による発電や焼却灰のコンクリート化を含んでいるのか。	リサイクル率に関しては、総ごみ量を分母とし、市で行う分別回収及び市民団体による古紙等の集団回収量を分子として計算しています。 中部清掃組合で行われている熱回収による発電や焼却灰のスラグ化については含んでいません。 各種施策に係る成果指標の算出方法については、巻末に掲載予定の「資料編」に記載することとしています。
	第4部 第1期基本計画 政策4（環境） 基本施策3 施策3	<b>斎場・墓地の適正管理について</b> 人口減少が進む状況から現在と将来の現役世代の負担が少なくなる埋葬方法を用意してほしい。 また、「具体的な取組」に合葬墓や樹木葬（墓）など葬儀費・維持管理費用が低額な選択肢を用意・検討する旨を記載してほしい。	近年ではライフスタイルや価値観の多様化により、合葬墓、樹木葬、納骨堂など様々な供養方法があることは認識しており、取組を進める上での参考といたします。
	第4部 第1期基本計画 政策5（農林水産） 基本施策1 施策1	<b>農地の保全について</b> 優良農地の確保を更に増やすことで農業を活力産業となるように誘導することが必要と考える。 「具体的な取組」に「優良農地となる様に土地改良を行う」の項目を追加し、「成果指標」を「優良農地面積の増減量」としてはどうか。	基本施策3・施策1「農業生産基盤の整備」において土地改良等に取り組むこととしており、優良農地の確保に向けた取組として位置付けています。 成果指標については、国が定める目標と整合性を図る必要があることから「農業振興地域内農用地の面積」を設定しています。

<p>第4部 第1期基本計画 政策5（農林水産） 基本施策1 施策3</p>	<p><b>農業生産・特産品の振興について</b></p> <p>外食産業や冷凍食品などの加工食品メーカーは量的安定供給やコスト面から外国産使用が継続している。</p> <p>生産量の拡大により安定的な顧客（外食産業や加工食品メーカーなど）確保を明記してはどうか。</p> <p>また、緑茶を例として、土山茶など他エリアの生産法人グループとの連携により生産加工の高効率化を図ることでコストダウンと供給総量増を図れるのではないかと考える。</p> <p>「具体的な取組」に「他エリアとの連携により高効率化を図る」と追記してはどうか。</p>	<p>本市では、もうかる農業を目指して地域商社「あぐりステーション」を設立し、地域内で地場農産物が回る地域内中規模流通システムの構築・推進を図っています。</p> <p>御提案の加工食品メーカーとの連携についても視野に入れており、今後も引き続き取り組むこととしています。</p> <p>このことについて具体的な取組を明確にするため、第4部「第1期基本計画」・政策5・基本施策1・施策3「農業生産・特産品の振興」の具体的な取組に「地域内で地場農産物が売れる地域内中規模流通システムの推進を図る。」を追記します。</p> <p>また、他の地域との連携については巻末の「計画の推進」において、様々な施策の推進を「多様な主体との連携」により図ることとしています。</p>
<p>第4部 第1期基本計画 計画の推進</p>	<p><b>効果的かつ効率的な行政運営の推進について</b></p> <p>市議会議員の個別活動が市民から見えない。議員選挙の際の実績活動を日頃から常時行っているのか不明である。</p> <p>議会での質問は広報紙で広報されるが、それ以外の活動は後援者以外が知る方法がない。</p> <p>「議会・行政委員会」の項目に「市議会WEBサイトに議員活動報告ページを定期的にアップ」を追記してはどうか。</p>	<p>議員の個別活動等については、議員個別のWEBサイトなどにより情報発信されているところです。</p> <p>御提案については、議会運営を進める上での参考とするともに、各議員にも共有します。</p>

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
5	第4部 第1期基本計画 全体	<p>以下の点について取り組んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う過疎化進行対策を。</li> <li>・病院への公共交通機関充実や駐車場不足の解消を。</li> <li>・交通事故件数減少のための取組強化を。</li> <li>・外国人人口増加に伴う対応を。</li> <li>・大雨による土砂災害被害防止対策を。</li> <li>・農業担い手不足によるスマート農業の促進を。</li> <li>・道路工事の安全対策の徹底を。</li> <li>・公共交通の充実を。</li> <li>・近江鉄道京セラ前駅の踏切が危険なため改良を。</li> </ul>	<p>御提案については、総合計画における各種施策に位置付けていると考えます。細部にわたる御提案については、可能な限り希望に添えるよう努めます。</p>

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
6	全体	<p>市の将来像や各分野の施策については大いに賛同する一方で、本市が全国的にも極めて貴重な文化資源を有する「万葉故地」であること、そして「万葉のまち東近江」としての個性を将来に向けて戦略的に位置付ける視点が、計画全体の中で十分に明示されていない点を残念に感じている。</p> <p>特に、今後8年間を目標に開催が予定されている「万葉故地サミット」は、東近江市の歴史的価値を全国・世界に発信する極めて重要な機会であり、観光振興、教育、地域誇りの醸成、交流人口の拡大など、複合的な波及効果が期待される国家的・文化的行事であると考えている。</p> <p>しかしながら、計画（案）においては、「万葉故地」としての東近江市の位置付け、万葉文化を核とした中長期的な観光・教育・地域振興施策、「万葉故地サミット」に向けた準備・基盤整備・人材育成・情報発信といった視点や具体的な施策項目が明確に盛り込まれておらず、本市ならではの歴史文化資源が十分にいかされないまま計画期間を迎えることを危惧している。</p> <p>そこで、以下の点について、計画の修正または今後の施策展開において検討してもらうよう意見として提出する。</p> <p>①「万葉のまち東近江」を市の個性・ブランドとして明確に位置付けること</p> <p>将来都市像および文化・観光・生涯学習分野の施策において、東近江市が「万葉故地」を有する全国有数の歴史文化都市であることを明確に位置付け、計画全体の中核的な個性・ブランドとして示してほしいと考える。</p> <p>②「万葉故地サミット」に向けた中長期的準備を計画項目に明記すること</p> <p>10年後のサミット開催に向け、万葉ゆかりの地の保存・整備、解説サイン・史跡ルート・デジタル案内の整備、次世代人材の育成、全国・海外への戦略的情報発信などを段階的に進める施策を、計画期間内の具体的取組として位置付けてほしいと考える。</p> <p>③教育・生涯学習・観光と連動した「万葉文化活用施策」の体系化</p> <p>学校教育・生涯学習・観光振興を横断する形で、万葉学習の充実、市民講座・研修・体験プログラムの展開、観光コンテンツの開発を体系的に推進する施策を、文化・観光分野の重点施策として明示してほしい。</p> <p>東近江市は、日本文化の源流に連なる「万葉」という比類なき資産を有する稀有な都市である。この強みを将来世代に継承し、市民の誇りと交流の核として育てていくことは、持続可能なまちづくりの根幹であると確信している。</p>	<p>本市には万葉文化に関わる文化財が数多く残されており、万葉故地は本市の重要な歴史文化資源の一つであると認識しています。</p> <p>このことについて明確にするため、第2部「現状と課題」・第1章「東近江市のアイデンティティ」・第1節「自然・歴史・文化」に万葉文化に関することを追記します。</p> <p>なお、これまで、本市では歴史文化基本構想に基づき、万葉故地に係る様々な施策に取り組んできました。御提案いただいた万葉故地サミットに向けた取組や観光や教育、生涯学習等との連携による施策展開については、取組を進める上での参考といたします。</p>